

《東保育所拠点事業地域子育て支援センター》

I. 事業総括

- ・親子の絆を深めるため、子育て親子の交流の場として在宅親子が安心できる居場所となるよう努めました。
- ・子育ての不安や悩みに寄り添い、場合によっては関連機関と連携を図り援助に努めました。
- ・子育てサークルや子育て支援団体と連携を図り交流活動の支援に努めました。
- ・地域の子育て支援関連情報を提供し、様々な保護者の輪が広がる支援を目指しました。

II. 事業目標に対する評価

地域の子どもの健やかな育ちの実現、子育て家庭が抱える育児不安や孤独感を軽減し子育ての楽しさや成長の喜びを感じることができるよう支援いたしました。

III. 計画事業の総括

1. サービス事業への取組み

今年度は感染症対策が緩和され、6月から行事以外は予約無しで支援センターを開所することが出来ました。予約制は在宅の保護者の方も負担に思われていたため、いつでも気軽に利用することが出来るよう対応いたしました。心のよりどころとして安心感を持って子育て出来るよう支援に努めました。

2. 人材育成への取組み

事業所間や園内研修は毎月計画的に行い、職員講師による乳幼児の発達や救急法、ケース会議など知識の共有を図りました。また子育て支援にも繋がる学びの場となりました。

3. 地域との関係強化への取組み

子育て相談は、相談内容によって関係機関(保育所や保健課、福祉課)に繋げ連携を図りました。地域に出向き親子交流活動や子育てサークルの援助を行いました。

4. 施設整備への取組み

玩具の古いものと新しいものを入れ替え、衛生面や安全対策に努めました。

令和5年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

1. 利用者状況

利用者	計画数	実績	差異
在宅親子	29組	17組	-12組

2. 実施サービス

<子育て親子の交流の促進>

実施事業の成果、評価
<p>在宅親子の交流の場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立防止を図るために子育て支援室『すくすく』を開所し、在宅の親子がゆったりと過ごせる環境を整えました。 ・保護者同士の交流を通して、子育て親子の相互支援、または保護者の自主的活動を支え孤独感の緩和を図るよう努めました。 ・支援センターが平常開所していることで気軽に来ていただき、心休まる時間を提供することが出来ました。母親が安心感を持って子育てに向き合うことが出来るよう、これからも心を配っていきたいと思います。 <p>・各保育所に開放日を設けました（月1回9：30～11：30） 親子サロン（いわみ西保育所）、わくわくデー（東保育所）、ピョピョデー（日貫保育所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育所と開放内容を話し合い、行事にも参加できるよう連携をとって実施しました。 ・開放日は同年齢の子どもの発達を知ることができ、入所前に保育所の様子や行事を知ってもらえる機会とあって、初めての方も参加され支援室へと繋がりました。 ・各保育所の親子サロン、わくわくデー、ピョピョデー、それぞれ年間12回の開放となりました。

<子育てに関する相談・援助>

実施事業の成果、評価
<p>来所や電話による子育て等に関する相談・援助を行う。（8：30～17：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談件数62件 ・子どもの発達や離乳食、断乳や一時預かり、保育所の入所（申請の仕方、保育所での生活リズム）についての相談があり、特に育児や発達に関連した相談内容が多く、相談内容によっては、他の関係機関（保健課栄養士・調理師・保育所長）と情報を共有し、より支援が的確なものであるよう努めたことは保護者の安心感へと繋がりました。 ・健診は毎月担当保育士が町の健診に参加することが出来ました。町内全体の親子と触れ合いを持ちながら悩みを聞き、生活習慣や子どもとの関わり方等の助言や援助を行いました。健診では新規の方にも来所のお誘いができたことや、相談もあったため、在宅親子との信頼関係へと繋げていくことが出来ました。 ・健診で新たな在宅親子と顔見知りになることで、支援センターへの来所や電話相談に繋がられるよう努めました。

<地域へ子育て関連情報の提供>

実施事業の成果、評価
<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌『すくすく』『月の行事』を在宅親子に毎月発行しました(地域の民生委員、公民館などにも送付)。地域の公共の場や病院、保健センターなどにも掲示いただきました。 ・広報紙『さくらだより』に情報提供を行いました。 ・Instagramにて支援センターの案内や活動の情報提供を試みました。 ・子育てに関する講演会やイベントの案内を配布しました。 ・赤ちゃんが誕生された方、石見地区に転居された方に『子育て支援センター』の案内を送付し来所に結びました。より多くの在宅親子に利用していただけるよう情報発信を行いました。 ・在宅親子の孤立感の緩和を図る為、地域へ支援センターについての情報発信を行うことで、在宅親子に対し周囲からの働きかけや情報提供を行っていただきました。 ・保健課や福祉課の協力を得て情報を早期に収集し、漏れのないように案内を送付しました。

<子育て及び、子育て支援に関する講座の実施>

実施事業の成果、評価
<ul style="list-style-type: none"> ・アートデー(12回)・わらべうた遊び・絵本の紹介・ママの心こころころ(11回)を開催しました。 ・3B体操、リズム遊びを年6回実施しました。 ・出前講座はベビーマッサージと離乳食の指導相談を保健師や栄養士により実施しました。 ・イベントは希望者が多く、予約制となりますが参加者が偏らないよう配慮し、孤立防止となるよう働きかけました。 ・在宅親子同士の交流を通して相互支援となるよう働きかけました。 ・専門職との連携、保護者が子どもの発達状況を知り、養育力や知識の向上を図り、不安感の軽減に繋げるよう努めました。

3. 人員体制の状況(常勤換算)

(単位：人)

今年度は、特に人員配置に問題はなく運営することが出来ました。

役職名	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
センター長(東保育所長が兼務)・ 嘱託保育士・保育士		4(2.6)		4(2.6)		0
計		4(2.6)		4(2.6)		0

【人財育成事業】

(1) 事業所内研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
救急法講習会	全職員	2名	緊急時の対応について共通理解を得ることが出来ました。
防犯訓練	全職員	2名	東保育所で訓練を実施しました。警察関係者により実際の実践を兼ね、評価を受け、改善策等の指導を受けました。

(2) 事業所間研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
人権研修	2名	1名	常勤が受講しパート職員にも周知しました。

(3) 事業所外研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
邑南町連携研修会	2名	2名	子どもたちを取りまくメディアについて現状把握および保護者に向けて発信する重要性を学ぶことができました。

【地域との関係強化への取組み】

実施した事業	事業内容・成果等
地域の子育て関連事業への参加	<ul style="list-style-type: none">・地域に出向き、親子交流活動や子育てサークルこぐまクラブの援助を行い、連携を強化に努めました。・地域団体や福祉施設との交流は調整が上手くいかず実施できませんでした。

【生産性向上計画】

東保育所と同じです。

【施設整備事業】

実施した施設整備等	実施した内容等
玩具の更新	古い玩具を新しい玩具と入れ替え、衛生面や安全対策に努めました。

【感染症・災害への対応への取組み】

東保育所と同じです。

以上